

## 平成27年度第2回南区地域福祉アクションプラン推進委員会 会議概要

名 称	第2回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会
日 時	平成28年2月26日(金) 午後1時30分から午後3時50分
会 場	白根健康福祉センター3階 多目的ホール
次 第	1 開 会 2 健康福祉課長あいさつ 3 南区地域福祉アクションプラン分科会報告 4 土橋アドバイザーからの助言 5 南区地域福祉アクションプランの進行管理について意見交換 6 「にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金」事業報告について 7 その他 8 閉会

### 事前配布資料

- ・平成27年度第2回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会会議次第
- ・資料1-1 南区地域福祉アクションプラン福祉分野別計画施策進行管理票  
(児童福祉・子育て支援)
- ・資料1-2 南区地域福祉アクションプラン福祉分野別計画施策進行管理票  
(障がい福祉)
- ・資料1-3 南区地域福祉アクションプラン福祉分野別計画施策進行管理票  
(高齢者福祉・介護者支援)
- ・資料1-4 南区地域福祉アクションプラン福祉分野別計画施策進行管理票  
(地域づくり)
- ・資料2 「にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金」事業実績報告書

### 出席者 推進委員 [18名]

金子勝委員, 竹山政男委員, 牛腸久実子委員, 佐久間栄子委員, 大野朗子委員, 宮崎幸一委員, 長谷川次郎委員, 長崎正明委員, 小柳典子委員, 山宮勇雄委員, 間島和代委員, 登石弘淑委員, 永井正子委員, 柳博明委員, 関口靖子委員, 山田ひろ子委員, 金子周永委員, 金子美和子委員 (欠席: 遠藤雪恵委員, 田中順子委員)

アドバイザー 土橋敏孝氏

### 事務局

【南区健康福祉課】高橋課長, 石倉補佐, 吉田主幹, 石川主幹, 篠沢主幹, 長谷川主幹, 相田係長, 清水係長, 高山主幹, 高木主査, 小柳副主査

【南区社会福祉協議会】小林事務局長, 池田補佐, 鈴木主査

報 道 なし

傍聴者 なし

<p>午後 1 時 30 分 事務局</p>	<p>定刻になりましたので、ただいまより平成 27 年度第 2 回目の南区地域福祉アクションプラン推進委員会を開催させていただきます</p> <p>開会に当たりまして、高橋健康福祉課長よりごあいさつ申し上げます。</p>
<p>健康福祉課長</p>	<p>皆さんこんにちは。健康福祉課の高橋でございます。皆様には日ごろ大変お世話になっております。この場を借りて感謝申し上げます。</p> <p>あいさつの前に一言、私から皆様にお詫びをさせていただきたいと思っております。このたび、第 1 回目の推進委員会のあと、委員報酬のお支払いに関しこちらのほうで誤りがありまして、新しく委員になられた皆様に大変なご迷惑をかけることになってしまいました。大変申し訳ありませんでした。今後このようなことのないよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、今日、第 2 回目の新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会ということになっております。新しい委員も多くいらっしゃる中、新しく計画を昨年作ったということで、まだ計画になじみのない委員もいらっしゃるかと思います。今回は、分野別の分科会に分かれて、皆様からすでに 1 回話し合いの場を持っていただいております。今日の会議の中で、それぞれ分科会から発表があると聞いておりますし、そのあと、土橋アドバイザーからご助言をいただけることになっております。計画に対する理解を深める機会としていただけたら幸いに思っております。</p> <p>あと、会議の後半でいがた安心ささえ愛補助金の事業報告が予定されております。この中にマップの団体がいらっしゃいます。南区ふれあい福祉マップ作成事業ということで、3 年間こちらの補助金を使って活動されてきた団体でございますが、今回、自治協議会のほうでこちらの団体からこの事業の取組みについての提案が区に上げられました。私ども内部で検討した結果、少し形を変えると言ったら何ですが、拡大するような形で、新年度の区づくり事業として取組むことが決まっております。どうか皆さんも、それぞれ活動している内容、それぞれでやっていること、このアクションプランの会議の中でお気づきの点がありましたら私どものほうにお知らせいただければ、区づくり事業等に生かしていきたいと考えておりますので、このあともご協力をよろしくお願ひいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>なお、本日の委員の出席状況でございますが、大郷地区コミュニティ協議会の遠藤委員、民生委員の田中委員からは欠席の連絡をいただ</p>

金子委員長	<p>いております。あと3名ほどの委員がまだお見えになっていませんけれども、後ほどおいでになると思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>申し遅れましたが、私は健康福祉課の石倉といいます。冒頭の部分のみ進行させていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、本日の会議資料の確認でございますが、まずは会議次第、それから資料1-1から1-4まで、ホッチキス止めにした大きなA3判のものがあるのですが、申し訳ございません、差し替えがございまして、今日お配りしました資料1-1と資料1-3をこれに差し替えていただきたいと思います。申し訳ありません、よろしくお願いいたします。この大きな資料が資料1-1、1-2、1-3、1-4までホッチキスどめになっております。それから資料2もホッチキスどめですが、A4判の小さいものでございます。</p> <p>それから今日お配りした資料で、資料2追加分ということで、特に資料ナンバーは振ってありませんが、補助事業にかかる事業実績報告書ということで、ホッチキス止めにしたものがあるかと思っております。</p> <p>資料は以上ですが、不足等はございませんでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは、前回同様に会議録を作成いたしますので、本日の会議の内容を録音させていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、これ以降の会議の進行につきましては金子委員長からお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>皆さん、大変ご苦勞さまでございます。委員長の金子でございます。しばらくの間、私から進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>昨年の12月24日でしたか、分科会がございまして、福祉計画の分野ごとに分科会を開いていただいて、各分科会の意見を出していただいたわけでございます。それに基づきまして、今回、分野別施策進行管理表が出てまいりました。そういうことで、各分科会からそれらの発表等をお願いしたいと思います。</p> <p>また、本日の次第をご覧いただきたいと思います。3番にアクションプラン分科会報告、それから4番に土橋アドバイザーからの助言、5番に南区地域福祉アクションプランの進行管理についての意見交換となっております。これら三つにつきましてはそれぞれ関連もございまして、この三つを一括で進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
-------	---

<p>事務局：吉田</p>	<p>分科会から説明いただく前に、事務局である地域福祉課から趣旨と申しますか、報告の仕方等を説明していただきたいと思います。</p> <p>事務局の健康福祉課、吉田でございます。今日はよろしくお願いいいたします。</p> <p>まず、皆様、お持ちいただきましたでしょうか、この冊子、なければ用意してございますので、挙手をいただければお届けします。</p> <p>そこの9ページをご覧ください。それから資料説明にありましたA3判の資料1-1から1-4をご用意いただけますでしょうか。</p> <p>分科会でお示ししたのですが、A3判の上段と下段に分かれております。その上段が南区分野別計画施策管理票となっております。下段が取り組み内容管理票の二つで構成されております。分野別児童子育て支援、障がい福祉、高齢者福祉・介護者支援、地域作りの順番でこのA3判の資料をとじてございます。</p> <p>上段部分の進行管理票は各分野別の小項目、課題別目標ごとにその下段の課題、取り組みの方向性を冊子の現状の課題と取り組みの方向性の文章を事務局で抜き出しまして、箇条書きでまとめてございます。取り組みについては、冊子の各分野の最後に記載してあります取り組みの内容を該当する小項目ごとに示しまして、各分科会でご確認をいただきました。</p> <p>下段の取り組み内容管理票には、実施していく内容やだれが実施するか、成果指標、年度目標の数値などについてご意見をいただきまして、後日、事務局で整理させていただきまして記載しております。</p> <p>今日は四つの分科会から報告をいただきまして、進行管理票と取り組み内容管理票を総括して土橋アドバイザーからご意見、ご指導をいただきまして、その後、全体で皆様に意見交換していただく予定になっておりますので、よろしくお願いいいたします。</p>
<p>金子委員長</p>	<p>今、事務局からこの表の見方等の説明がございました。各分科会から、先回の分科会等で出た意見をまとめたものがここにあるわけですが、それらについてご説明、ご報告をお願いできればということでございます。</p> <p>最初に、児童・子育て支援分科会からご報告をお願いしたいと思います。</p>
<p>金子（美）委員</p>	<p>子育てのほうでは3分野に分かれて話し合いを進めさせていただきました。資料1-1に関してですけれども、健診などは白根健康福祉センターが主に行っているということで、今現在は施設も新しく充実しているのではないかという意見も出てきました。あと、子育て支援</p>

リーダーなどによるアウトリーチ支援というところで、やはり訪問者の了解を得て訪問しなければならないということで、かなりそこは課題があるのではないか、難しいのではないかと意見が出てきています。この辺でも今年度初めての事業であって3年間を目標にしているということで、子育て支援リーダーの研修などを行いながらアウトリーチ支援の目的に向かって少しずつ取組んでいきたいという方向性のお答えもいただいております。

あと、臼井地域の方から、支え合い事業を、今、実質固まっているのですけれども、定員を集めるのに四苦八苦しているという意見が出ました。地域によっては定員がすぐ埋まってしまうところもあり、地域性にとっても差があるということがこの白根地域の中では課題になってくるのではないかとということで、意見が出てまいりました。

資料2になるのですけれども、サロン交流会ということで、年1回研修会、主任児童委員などの方を招いて社会福祉協議会が中心になってサロン交流会を行っているということで報告があり、放課後児童クラブへのネットワークづくりということでは、社会福祉協議会が中心になってひまわりクラブ、あと、民の学童クラブもありますので、その辺のネットワークづくりを今後つなげていきたいという意見が出ておりました。

子育て支援リーダーの育成ということなのですけれども、この辺では傾聴やボランティア、主に高齢者対象にこの辺では研修を行っているのですけれども、やはりその辺でも子育て支援という部分での育成の研修も行っていくことができればいいのではないかとということで意見が出てきておりました。

地域全体で子どもをはぐくむ意識の向上という部分では、地域別には確かに行ってはいるのですけれども、実質どのような、支援ではないのですけれどもイベントなどが行われているか、全体を把握し切れていない。地区ごとの計画性と活動計画をしっかり把握していかなければ、地域全体というところの子どもをはぐくむ状態をしっかり把握できないのではないかとということで、ばらばらに行われているけれども、そのまとめ役がどこであるかという拠点をしっかりしていかなければいけないのではないかとということで、意見も出てまいりました。

3ページ目になるのですけれども、児童館・子育て支援センターネットワーク会議の開催なのですけれども、これは南区独自のもので、年3回開催しているというところでは、かなり子育て支援というところで南区自体は力を入れている事業だということで説明がありまし

金子委員長	<p>た。</p> <p>既存の保育サービスの拡充なのですけれども、一時保育、保育時間の延長ということも、やはり働く親にとってはその辺も考慮していただきたいという意見が出てきました。</p> <p>あと、南区は病児保育がないということで、その辺でも課題がありますし、産科がないということも大きな、少子化ということで、南区で出産できないというのも大きな問題ではないかということも出てきていました。</p> <p>あと、普段のファミサポなのですけれども、本部が一括に登録するというところで、南区で地域で登録ができればみんな足が運びやすく利用しやすいのではないかとということで、その辺でもしできれば考慮していただければという意見が出てきておりました。</p> <p>このような感じで、子育て分野のほうは意見が出て、ざっとまとめさせていただきました。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>進め方の中で、四つの分科会から発表いただきまして、土橋先生からアドバイスをいただいた後で皆様方からご意見、ご質問等を受けたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>続きまして、障がい者福祉分科会からご報告をお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。</p>
宮崎委員	<p>障がい福祉に関して、分科会で12月、ここに記載されているとおりの話で、最初は福祉サービス利用の相談体制の充実ということで、今までやってきた実施内容の充実を図ろうと。その中で何が足りないのかという部分、まずはそういう取組みから話し合いが始まりまして、アクションプランの中では福祉サービス利用の相談体制の充実、取組みの内容としては書いてある内容を計画します。健康福祉課、基幹相談支援センター秋葉といったところからの情報提供をいただいて、相談支援事業をしたいと。</p> <p>現状、去年のお話なのですが、南区在住者から中央区、東区、江南区の相談件数が約2,000件あったという話がありまして、どうして南区、市内でそういう件数がないのだろうと。南区の相談件数としては42件しかなかったという実績報告をお聞きして、それを拡充するにはどうしたらいいかという話がありました。</p> <p>実施内容として、先ほどの取組みの中では区だよりの掲載、社協だよりの掲載、そういうものと、あとは相談員に関する研修を開催しようという内容で進めました。</p>

	<p>次に、障がいのある人と地域が交流できるまちという、課題として地域の人たちへの障がいに対する理解を地域の受け皿づくり。とりあえず、民生委員、児童委員、地域のコミュニティの中で連携の強化が必要なのではないかという話になりました。取組みに関しては、各小学校、中学校、情報を共有し合って取組んでいかなければならないのではないかということでした。</p> <p>次に、地域の課題の解決に向けて話し合える環境の整備の推進ということで、南区障がい者地域自立支援協議会や地域福祉ネットワーク会議を通じて関係機関に情報共有を進めるということで、生活課題の発見をしたい。これは南区障がい者地域自立支援協議会の運営ということで、健康福祉課を主体に年4回行っていこうということでした。</p> <p>ここに書いたとおりですが、最後、分かりやすい福祉情報を提供することで、障がいのある人が安心して外出できる情報が不足しているのではないかということで、補助費用的なことで南区ふれあい福祉マップ作成事業、各機関でボランティア的な形で福祉マップ作りを進めまして、まだ完成していませんけれども、これは今度は区作り事業に昇華したような形でお聞きしましたので、福祉マップ、福祉情報を活用して、さらなる住みやすい南区にしようということで話がありました。</p>
金子委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、高齢者福祉・介護者支援分科会からご報告を願います。</p>
登石委員	<p>高齢者福祉・介護者支援分科会の報告をします。</p> <p>1月14日に開きました。分かりやすいようにそれぞれの項目に従って課題、取組みに分けてお話し申し上げたいと思います。</p> <p>資料1-3をご覧くださいと思います。まず、高齢者の閉じこもりや孤立の防止という点でございますが、とにかく高齢者が増加しています。65歳以上、全国24パーセント、3,000万人を超えているという高齢者の増加でございます。しかし、比率から見ますと、新潟市では南区が最も少ないのです。そのようなことも付言させていただきました。</p> <p>いずれにせよ、居場所作りをしっかりと取組んでいかなければならないだろうと。居場所をとにかく確保する。そして参加者から多く出してもらうように促進するという取組みをしなければならぬだろうという話でございます。</p> <p>2番目、高齢者・介護者を支えあうまちづくりということでござい</p>

	<p>ますが、ご承知のように核家族化が進んでおりまして、親子が離れて暮らすとか、夫婦共稼ぎなどがありまして、人間関係の希薄がまず課題として上げられると思います。最近のニュースでも社会問題になっています老老介護とか、介護疲れとかそういうような課題があるわけでございます。取組みとしては、介護支援センター、介護教室の周知を行って、会議を通じてネットワーク構築を目指してはどうかという話でございます。</p> <p>3 番目でございますが、高齢者の健康づくり・介護要望の推進でございます。私はこの分科会でも話をしたのですけれども、この分科会での目玉商品というか核になる問題ではないかと提案申し上げたわけでございますが、後ほどまたご指導いただきたいと思っています。とにかく、健康寿命を延ばすことによっていろいろ介護や、これから出てくる認知症の問題などが解決されていくのではないかとということでございます。しかし、残念ながら特定健診の受診率が低いとか、後期高齢者の健診が非常にこの地区では非常に低いと言われてございます。そのうえたばこを飲んでいるとか、さっぱり運動しないという状況が非常に多いです。そのようなことを考えて、取組みとしては、健康寿命を延ばすということを中核において取組んではどうだろうかという話が出ています。</p> <p>最後に、認知症の予防と対策でございます。高齢化が進むと同時に認知症の高齢者の増加が見込まれますし、認知症の理解がまだ深まっていないということで、いろいろな研修、講座を開いて、認知症への理解に取り組む必要があるだろうという事柄が話し合われたところです。</p>
金子委員長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、最後になります。地域づくり分科会から報告をお願いいたします。</p>
長谷川委員	<p>地域づくり分科会の報告をさせていただきます。根岸地域コミュニティ協議会の長谷川でございます。</p> <p>地域づくり分科会は 12 月 24 日に開いて、検討いたしました。三つの柱があるわけです。</p> <p>最初に、資料 1－4 をご覧ください。地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン活動の支援というところがございます。サロンということで、かなり高齢者が増えているということもありまして、先ほどの高齢者の分科会でも孤立を防ぐための防止ということでサロンが出ていましたが、それとダブっているところがあるので、その辺は省略しま</p>

す。私どもの中で出た中で、やはり、地域づくりという観点からはその地域のいろいろな年齢層もありますし、いろいろな方がいらっしゃいます。できるだけ大勢の方の出られるようなということで、ここに書いてありますように新しい茶の間を立ち上げるとか、実施内容の下のところにも出ています。地域にあった新しい形の茶の間づくり、それから世代間交流会とか、こういうもので広い視野でその地域に合ったお茶の間というものがいいのではないかとということで、けっこういろいろなそういう。まとめるというのとは違うのですけれども、いろいろな意見がありました。そういう中で、ここで一番なのは、やはりその地域に合った新しい形のお茶の間を考えていったらいいのではないかとことです。実際に、とある地区ではほんの自治会単位のところでも全く独自にお茶の間のサロンの企画をやって立ち上げているところもあったという話も出ておりました。これが第1のところでございます。

それから次、2枚目、地域ボランティア活動です。地域ボランティア活動の場発信と活動支援についてです。この中では、一番大きな話だったのが、ここの健康福祉センターのボランティアルームです。あそこを私もそのときに初めて見せていただいたのですが、非常に皆さんボランティアの方がいろいろとられるような場所があるということ。それはあまり一般的には知られていないのですけれども、私もそのとき初めて知ったくらいであまり知られていないのですけれども、その辺のところ、この健康福祉センターとそのボランティアルームを有効に活用して、新しい活動の拠点としてその辺の活用を図っていったらいいのではないかとという意見で、皆さんでそこを見学して、ここがいいねということでだいたい一致したところがございます。それを基にすることによって、また新しいボランティアの発掘ということで、ボランティアのニーズというか、ボランティア間の連絡を取って、その間で新しい、ボランティアという言葉はあれなのですが、またそういう新しいニーズを発掘していくということで、そこをうまく活用してボランティア同士の連携を図ったらそういうものがうまくいくのではないかと話も出ておりました。

それからもう一つは、小中学校のコーディネーターの協力ということも重要なことになるのではないかとということで、学校単位の中での新しい、学区単位とかいろいろなものがありますので、そういうものを活用できるのではないかとことです。

この中で一番は、福祉センターの有効活用と申しますか、そういう

ところをもっと活発にやっていくことが大事なのではないかということと、それをさらに、そういうことを聞きながら行政からも柔軟な対応をしてほしいということです。柔軟なという意味は、もっと使いやすいということを含んでいまして、もっと使いやすく、もっと気楽に使えるようにという方向が出ておりました。

最後にもう一つのところ、災害時要援護者支援体制の充実です。すでに自主防災訓練というのは各地区で行われているわけですがけれども、その中で要援護者支援というのは、去年、一昨年も南区全体の防災訓練の一つのテーマとして要支援の訓練ということで、私もそのときに防災訓練にかかわったものですから、直接南区からのテーマとして、要支援者の防災ということで、防災訓練のときにリヤカーとかいろいろな方法、手段を使って要支援者の方をどうするかということを検討したことがございます。その中で、要支援者の避難とか訓練もそうなのですが、それを直接担当するというとおかしいのですが、各自治会単位で、今、自治会長が1年交替とか、最近、長くやるのではなくて1年とか2年で替わられるということが非常に多くなってきて、そういう中で自治会長や自治会の役員の方の引き継ぎの中できちんと要支援対策の引き継ぎができるようにということで、その辺も何か指導というか、そういうものに力を入れたらいいのではないかという意見がありました。

それからもう一つ、災害ボランティアの関連なのですけれども、白根高校の生徒です。白根高校にはボランティア組織がございます。私は保護司をやっていますので、保護司のほうでは毎年社会を明るくする運動ということで、イオンを核にして白根地区の人の集まる場所に社会を明るくする運動ということで、うちわを配ったりいろいろなチラシを配ったりしています。そのときに、毎年、白根高校のボランティアサークルの方がかなりの人数、参加してもらっています。よく聞きましたら、それは災害支援とかそういうところにもボランティアとしての、生徒はそういうことを意識として持っていて、こういうものからすると非常に白根高校の災害時のそういうところも、若い人に意識づけをする意味でも非常に重要なのではないかということ意見が出ております。それからもう一つは、高校だけではなくて、中学校にも、中学生に自主防災訓練に参加してもらってということで、もっと若い人たちの層を広げていったらいいのではないかということで、その辺も意見が出ております。

すでにこれは私のほうの防災訓練には中学生を巻き込もうというこ

金子委員長	<p>とで、中学生に参加を依頼してやっています。根岸の防災訓練には白根北中学校の生徒には参加してもらっています。徐々にそういうものも広げていったらいいのではないかというのが、意見として出ておりました。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>各分科会から、その分科会での話し合いについてご報告をいただきました。これらを受けまして、土橋先生からアドバイスをひとつお願いしたいと思います。よろしくお願いいいたします。</p>
土橋アドバイザー	<p>どうもご苦労さまです。</p> <p>アドバイスになるかどうか分からないのですが、昨年、計画を作りまして、そのときにも、前の計画のときから新しい委員の方々と入れ替わったりしていて、実際にこういう計画ができていてこと自体が分からなかったという方々もいらっしゃるわけですね。改めて1年たってみて、皆さん方のご報告をお聞きしていると、自分たちの問題としてなんとか問題解決を図っていこうという、意欲が十分感じ取られるようなご発表をいただいたのかなと思います。ただ、健診のようにどうしても自分たちがやるわけではないとなると、やってくれるのを待っている、その人が出てくるのを何とか応援できればという感じになってしまうわけですね。いずれにしろ、皆さんそれぞれの役割を認識して、そして実際にそれを解決していく方向で取り組んでいこうというお気持ちをはっきりと出ていてよかったと思っています。</p> <p>今、四つの分科会から出されたことで少し気になったことというか、こういうことでいいのではないかということであれなのですが、児童・子育て支援分科会のほうで地域性の問題が出ました。私も南区のことが新聞に出ることがあるかなといつも見ているのですけれども、今は大通地区が高齢者支援ということで大きく出されたわけですね。それぞれの地区でそれぞれの活動を実際には行われていらっしゃるわけで、それは非常にいいわけですね。格差が現実にはあるということです。しかし、その格差というのは、突き詰めていくと、例えば、子育ての場合には子どもがたくさんいらっしゃる地域と少ない地域では、どう考えても取組みの仕方が変わってくるわけですから、その辺をどのように評価するのかということは、当然、あるだろうと思います。少ないところにはどのような支援の方法があるのかということも考えていかなければならないだろうと思います。</p> <p>それから、ネットワークづくりというものが出てきましたけれども、これは総じて言えば、結局、問題解決を図っていくうえでは個人個人</p>

がどういふ地域で生活されているのかということ、そしてそこに課題があればその課題の解決に応援していきましょうというスタンスになると思うのです。地区の中で、例えば、サロンや地域の茶の間を作って関与してきていただくという形になっていくと、それはその地域のネットワークとかまちづくりの一環として作られていく、やられていくということになるわけですがけれども、どう考えてもそういう地域全体の中で組織を作っていくという方向と、その組織に乗れない人たち、また、組織に乗っても課題が解決しない人たちが出てくるわけで、そういう個人個人に対して焦点を絞ってきちんと対応していく部分が必要になってきます。そうなってくると、専門家と皆さん方が協働して問題解決を図っていくということが必要になりますから、当然のこととして情報の共有とかネットワーク、連携というようなことが必要になってきます。それは各分科会ともお感じになっていらっしゃるのではないかと思います。

それから、子育てのところで気になったのですが、出産ができないということをおっしゃいました。やはり社会資源が十分か十分でないかということ、当然のこととしていろいろ課題に結びついてくるのだらうと思います。その辺についてはどういふ解決の仕方を考えるかということを考えていかなければならないだらうと。ただ、この計画そのものの中で、今年1年やってきて急に何か要望してできたということにはならないわけですから、計画の達成時期を明確にしながら追い求めていただくという形になるだらうと思います。

それから障がい者のところですがけれども、相談体制で地域のほうから、地区の中では相談件数が非常に少ないということがありましたけれども、往々にして地元の相談機関に顔を出すというのはいやがるのです。というのは、相談員になる方がほかから来ているのであればいいのでしょうけれども、地域の中の方が相談員になっていらっしゃるということで、それに対して私はいやだなという人たちは当然いらっしゃるわけです。そこらのところも考えていかなければいけないので、ほかの地域に行って問題解決が図れるのであればそれはそれでいいと考えたほうがいいかもしれません。ただ、そうは言っても、できれば一人や二人を他地域から来てもらって相談体制の充実を図っていくということも一つの考え方なのではないかと思います。

それから障がい者の場合、障がい者の理解ということ、一人一人の障がいを持つ人たちの情報を理解するということになるわけですがけれども、実は、地域の中でやらなければいけないのは障がいの理解なので

す。今、いろいろな障がいをお持ちになっている方々がいらっしやっ  
て、テレビなどを見ている、最近、自閉症を含めた発達障がいの方々  
のことはよく取り上げられているわけですが、発達障がいという  
のはどういうものなのか、知的障がいはどういうものなのかという、  
障がいの理解と同時にそれを抱えているその人の生活全般の理解、そ  
のところは分けて考えていかないと、なかなかうまく進まない面があ  
るのではないかと思いますので、その辺の情報共有を考えてもらおうと  
いいかなと思います。

ふれあいマップ作りは今度は区事業になっていくということなので、  
よりレベルアップしていくことを考えられればいいのではないかと  
思っています。

それから高齢者のところですが、閉じこもりという言い方が  
されています。閉じこもりになる原因は、一つはお年を召されること  
によって運動機能の低下、体が十分に動かないということです。それ  
から口腔機能、口の中の清潔を図ることが大事です。それから  
うつとか認知症ということで、原因がいろいろあるわけです。そのよ  
うに考えたときに、閉じこもってしまった高齢者をどうやって地域  
の中に誘い出して、サロンであるとか茶の間に来ていただけるのか。そ  
の辺は思ったより簡単なことではないだろうと思うのです。ご本人は  
閉じこもっているわけですから、外にどんどん出て行こうと考えてい  
るわけではないので、そういう意味では大変だと思うのです。

しかし、よく昔から言われているのですけれども、男性が定年を迎  
えて地域の中に入っても、なかなか自分の活動の場が見つからない人  
たちが多いということが言われていたわけです。これからますますそ  
ういう人たちが増えてくる可能性があるということで、地域の中で受  
け入れる場合に、これができないから、あれができないからではなく  
て、そこに自分の居場所ができるような支援ができればと思うのです。

河田さんのところで実家の茶の間ということでやっていますけれど  
も、だいたい毎回30名程度集まっていっしやるようです。いろい  
ろな方々が来られているということで、そういう意味では、高齢者ば  
かり来てもらうということではなくて、世代間の交流ができるとか、  
それから何というのでしょうか、もっといろいろなことを学ぶ場にな  
ってもいいだろうと思います。

それから先ほどから出ております、健康寿命を延ばすための介護支  
援ということで、要介護の人たちへの支援です。そういうことも含め  
た取組みにしていくといいのではないかと思います。ただ、大事なこ

とですけれども、そうなっていくと、地域の茶の間とかサロンの運営についてはある程度意図的でないといけなくなってきます。従来はそこに集まってお茶飲みをして楽しんでみんなで会話したり遊んだりということによかったわけですが、閉じこもりの人たちと一緒にやっっていこうとすれば、意図的に呼びかけてこななければならないとか、意図的に何かを企画していかなければならないということが出てきます。そうなってくると、地域ごとにやっている茶の間であるとかサロンというものの運営がなかなか面倒だということになりかねないので、そこをどうやって情報共有しながらやり方を考えて工夫していくかということが必要だと思います。

それから地域づくりのところで、やはりサロンと地域の茶の間が出てくるわけですが、高齢者の支援と地域づくりということで二つがダブってくるような部分がありますけれども、一つにしてもいいのではないかと思います。ただ、そのときに、やはり先ほど申し上げましたように、閉じこもりの場合には個別的な支援というものが必要になりますから、そのことを踏まえた視点を持ち続けながら、地域の茶の間、サロンのことについて検討していただければいいのではないかと思います。

それからボランティアのことなのですが、今、何というのでしょうか、ボランティアをやる方々の、若い人たちと高齢者というのでしょうか、そういう方々と分かれてきている部分があると思うのです。若い人たちをどうやって取り込んでいくのかということが大事だと思います。そういうところでは、最後のところで災害支援ということで要支援者へのかかわりというもの、若い子どもたち、中学生とか高校生というのは非常にいい取組みになるのではないかと思います。ただ、そういう人たちをボランティアとして受け入れていくときには、多少皆さん方も気を遣っていただくと同時に、彼らが持っているエネルギーをうまく吸収できるようなサポートをしていただけるととてもいいのではないかと思います。福祉に限ったボランティアをいつまでも奨励するというのではなくて、彼らが楽しむボランティア活動ができるような支援があれば非常にいいかなと思っています。そういうものは、皆さん方が考えるより高校生や中学生自らに考えてもらったほうが、もしかしたら早いのではないかと。彼らは彼らなりの視点がありますから、そういうものも大事にしながらボランティア活動へ引き込んでいくということもできれば非常にいいかなと思っています。ぜひ、その辺の問題を考えていただけるといいかなと思います。

金子委員長	<p>最後ですけれども、とりあえず、この1年計画を立ててやってきたわけですね。いろいろなことが思い至ったのではないかと思います。自分たちが掲げてきたことがそのとおりに進むという面もあれば、そうではないのではないかとという面も出てきたのではないかと思います。</p> <p>それからもう一つは、地区ごとにどうするかという部分があるわけですね。地区は地区でどういう方向へ行こうかという目標はこの計画の中に立ててあるわけですから、それとその四つの分科会がどういう形で交差していったらいいのか、ぜひ、その辺も考えて2年目、3年目に向けて行っていただけるとありがたいと思います。</p>
金子委員長	<p>どうもありがとうございました。それぞれの各分科会にわたるところで、土橋先生から貴重なアドバイスをいただいたわけですね。この際ですので、土橋先生に何かお聞きしたいことがあれば先に承りたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。またこのあとで、もし気がつかれたらお願いしたいと思います。</p>
事務局：吉田	<p>今ほどの土橋先生からの助言を踏まえまして、各分科会の進行管理について皆様方と意見交換させていただきたいと思います。それに先立ちまして、事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局：吉田	<p>四つの分科会からそれぞれ出された意見をご報告いただきました。それに基づきまして、事務局で取組み内容の管理表を作成してございます。今ほどの土橋先生の助言を踏まえて、取組み内容管理票の成果指標、年度目標などの内容、それからこのようなことも取組んだらどうだろうかという、追加の意見などがございましたら意見交換の中でお話しいただければと思います。出されたご意見につきましては、持ち帰りまして事務局で勉強させていただきまして、もし適当であるということであれば管理票に反映させていきたいと思います。</p>
金子委員長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>今ほど事務局からご説明ございましたように、皆様方にお示ししてある進行管理票について、何かご意見、もっと付け加えたいようなことがあればお出しいただいて、また、進行管理に反映させるということでございます。</p> <p>一つずつ区切ってまいりましょうか。児童・子育て支援分科会の進行管理票に対して何かご質問なりご意見、もう少しこういうものを付け加えたらどうだというものがあったらお知らせ願いたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>各分科会で話されたことで、なかなかその中身もほかの分科会では</p>

事務局：長谷川	<p>分からない部分もあるかもしれませんが。逆に児童・子育て支援分科会の皆さんで、言い忘れたというかもっと付け加えたらいいのかなというものがあれば、分科会からもお出しただければと思います。</p> <p>私から、簡単なことなのですからけれども、ここにNPとかBPとかありますが、これは何のことか聞かせていただけますか。</p> <p>児童福祉系の長谷川と申します。よろしく申し上げます。</p> <p>NPはNobody's Perfectの略で、完璧な親なんていないという講座の略称です。子育て中の保護者を集めての講座になります。</p> <p>BPプログラムというのは、初めて子育てをする、第一子のお母さんたちを対象にした講座です。</p>
金子委員長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>あと何か、小さいことでけっこうでございますので。</p> <p>それでは、児童・子育て支援分科会についてはこれで終わって次に移ってもよろしいでしょうか。</p> <p>次に、障がい者福祉分科会から出されたものについて、いかがでしょうか。皆様から何かご意見があれば承ります。</p> <p>では、これについても次に進めさせていただいてよろしいですか。</p> <p>それでは、高齢者福祉・介護者支援分科会はいかがでしょうか。</p> <p>これについてもないようですので、地域づくり分科会に進みたいと思います。こちらはいかがでしょうか。</p> <p>各分科会に対して、特にご意見等ございましたので、分科会も含めて、何か前段の計画の中で何かあったらお出しただければと思います。</p> <p>特にないということで、3番から5番については終わらせてもらってよろしいでしょうか。また何か気がついたところがあれば、事務局にでもお問い合わせいただければと思います。ありがとうございました。</p> <p>ここでいったん休憩させていただきます。45分まで休憩させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">(休憩)</p>
金子委員長	<p>再開させていただきます。6番のいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金の事業報告についてということで、その前に、私も早く休憩を取りすぎたのですけれども、今後のアクションプランの推進委員会並びに分科会、これから先といいますか当面の日程についてお話しさせていただきますしたいと思います。事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>平成28年度からの分科会と推進委員会の、事務局で予定しております。</p>

金子委員長	<p>す、だいたいの目安をお話ししたいと思っております。</p> <p>まず、平成 28 年度第 2 回推進委員会、7 月中旬から下旬になるかと思うのですが、予定をしております。その前に、5 月に白根大帆合戦がありますので、5 月、2 日目くらいのところでその推進のための分科会を開催したいと思っております。その分科会では、今、皆様に進行管理、意見交換していただきました平成 27 年度に実施した取組みにつきまして評価していただきます。それから平成 28 年度の取組みについても意見交換していただきまして、その分科会で話し合っていた内容について、また 7 月の推進委員会、このような形で同じく分科会から、平成 27 年度分の評価、それから平成 28 年度の取組みについてご意見をいただきたいと思っております。それから第 2 回につきましては、同じように 12 月中になるかと思いますが、同じく分科会を開きまして平成 29 年度の取組みについてお話しいただきながら、また同じように 2 月になろうかと思うのですが、第 2 回推進会議をもちまして皆様から意見交換をしていただきたいと思っております。だいたいおざっぱなのですが、そのような計画になっております。</p> <p>今、評価していただくということになりますけれども、ここの進行管理票とは別に、評価するためのシートを作りたいと考えております。この進行管理は取組みについて、研修会何回とか冊子を何冊ですとか、何回実施するという取組みの内容になっていますが、評価のほうでは、私の腹案なのですが、課題について、その取組みを行ったことによってどのような課題が解決されたか、また新たな課題が生じたかというような、何を何回したという評価ではなくて、どのように課題が解消されたか、また、何をどうやってどうしたから課題がどうなったというような評価の仕方を考えております。少し難しくなるのですが、私個人の、本当に表に出していないのですけれども、そのようなことを考えております。今後それを繰り返しながら、進行管理、評価をしていきたいと考えております。</p> <p>当面につきましては、7 月に平成 28 年度の第 1 回アクションプラン推進委員会が予定されると。それに先だって 5 月ごろに分科会を開いて、そこで分科会ごとの評価を行っていくということでございます。一応、そのようなことで進めさせていただきたいと思っておりますが、よろしくお願ひしたいと思っております。</p> <p>それでは、6 番目、にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金の事業報告について、お願ひしたいと思っております。</p> <p>まず、この補助金について事務局から説明いただけますでしょうか。</p>
-------	---

事務局	<p>にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金につきまして、説明というところでございますが、地域の目指す課題とか福祉課題につきまして、団体が取組んでどのように解決していくかということその地域で広げて、団体やサークルの趣味的活動ではなくて、本当にその地域に根ざした福祉に取組む活動につきまして補助をしていくという補助金がございます。平成27年度は南区では7団体から取組んでいただいて、補助を出しております。補助の限度額は最高20万円以内であります。</p> <p>今、発表していただく7団体から活動していただいているのですが、それぞれ、世代間交流や子育ての母親にもう少し余裕を持った生活をしていただけるような取組みが今は多いですが、もちろん、地域福祉アクションプランに載っている計画を推進するというのが一番の目的でございます。一字一句間違いないような取組みではなくて、それに沿った事業を地域に広げる、拡大していく、それがその補助金によって3年間継続していただけるのですが、その補助が終わったあともさらに継続されていくという事業が条件となっております。皆さんの地域でもそれぞれやっていたところもありますし、うちは知らなかったというところもあると思います。個人ではできないのですが、団体についてそういう補助金がありますので、活用していただきたいと思っています。</p> <p>終わった後に話そうかと思ったのですが、今まで、この補助金は区ごとに5団体の制限がありました。ところが、各区があまり使っていない補助金で、南区は5団体よりも二つ多い7団体が活用しております。2団体分をほかの区からあまった予算で多く補助しております。ところが、来年度からは予算の関係で5団体が制限だということになっておりますので、活動内容の申請によりまして、審査委員会があるのですが、その内容を審査いたしまして、もしはみ出していれば点数制というか、順位をつけまして5団体に絞らせていただくような形になると思います。備品はここには対象にならないのですが、講師の謝礼や旅費や通信費などが該当となりますので、皆さん、心当たりのある事業がありましたら申請をいただきたいと思っております。</p>
金子委員長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>この補助金につきましては、このアクションプランのこの計画に関連した事業に対する補助金ということでございます。平成27年度については7団体がこの補助金の交付を受けているということでございます。皆様方のところへあらかじめ送付したものについては4団体分があらかじめ送付されていると思います。今日、3団体分の実績報告が</p>

事務局	<p>まいていると思います。ただ、今の段階でまだ事業が終了していないものもあるのですけれども、それについては現時点の報告としてご理解いただきたいと思います。</p> <p>それでは、これから各団体の方から、全部ではないのですけれども、おいでいただいているところもございますので、おいでいただいているところから発表、報告をお願いできればと思います。</p> <p>それでは、これからの進行については事務局から進行させていただきます。</p> <p>まず、委員の皆様、いらっしゃる順からやっていただきたいと思います。大野委員からよろしいでしょうか。</p>
大野委員 事務局	<p>大野です。よろしくお願いします。</p> <p>皆さんのほうにA4判の、順番がばらばらになっているのですけれども、探していただいて。</p>
大野委員	<p>今日配られた中の1枚めくったところです。臼井地区健康づくり教室と子育て広場です。事業内容ですけれども、ここに書かれてあるように、3回やりました。参加人数は少ない回数が多いのですけれども、参加された方はとても楽しく有意義な時間を過ごしていただきました。</p> <p>実施した事業の成果および今後の課題ですけれども、課題として、告知の仕方がうまくいかず定員割れをする。告知の仕方は回覧板、DM等をしました。小学校で開催予定の会が日程の都合が合わず中止になり、今後の課題として早めに日程を設定することと思っています。</p> <p>成果として、参加した方からは楽しく過ごせた、勉強になった等の声や、中学校にボランティアを頼んだときには中学生の様子に地域の方から子どもたちの成長した姿が見られてよかったという声がありました。世代交流の場にもなりよかったです。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまご報告をいただきましたが、皆さんから何かご質問がありましたらお願いいたします。</p> <p>ありませんでしょうか。ないようですので、次に、柳委員からお願いしたいと思います。</p>
柳委員	<p>皆さん、こんにちは。白根手話サークルつばさの柳と申します。</p> <p>資料の後ろのほうにありますけれども、日程に間違いがありまして、9月9日から11月13日までと書いてある日程が間違っておりまして、直していただけますでしょうか。9月9日になっているのですが、9月11日からと直してください。</p>



実施期間が7月1日から14日まで全3回のコースでヨガ、クッキング、フラワーアレンジメントということで、小さな子どもを持っていらっしゃるお母さんを対象に実施させていただきました。今期で3回目になります。内容はヨガとクッキングとフラワーアレンジメントだったのですけれども、募集人員が各回20名ということで、同じメンバーで3回とも申し込んでいただくのが原則で、同じ方に参加していただくことになりました。保育が16名までということだったものですから、やはり保育付きということで実施させていただいているということで、それを目当てに楽しみに来られる、申し込みされる保護者の方が多かったものですから、人員としては参加人員が多くて16名の参加になりました。

3回ともやらせていただいて、成果として、右にも書いてあるのですけれども、回を重ねることで参加者同士がコミュニケーションを取ってとても仲良くなって話し合っている姿が見られるようになったということで、同じメンバーで実施することのよさがとても感じられる会でした。

あと、意外と皆さん、南区のほうでも子育て中のお母さんを応援している団体がたくさんあるということを知らないということで、その辺を少し説明させていただいたら、子育てにやさしい地区だということで、皆さんに周知していただくことができたということもとてもいい成果だったのではないかと思います。

ただ、保育が16名と、先ほど申し上げたとおりですので、申し込みの段階でとても人気がありまして、あっという間に定員に達してしまいましたので、漏れてしまったお母さん方もいらっしゃるということもありました。3回が7月1日から14日までという日程で、とても短い期間で3回やったということで、体調を崩された子どもがいた場合に2回目、3回目と出席できなかった方もいらっしゃるということもありましたので、来期は、もしこちらの事業が、また計画させていただいているのですけれども、そちらのほうでは少し日程を空けてできればいいなという反省点があります。

子どももそうなのですが、材料なども無駄になってしまうということもありましたので、近くの、その日いらっしゃるお母さん方に声をかけて急遽参加していただくということもありましたので、その辺、あらかじめ準備した材料や具材が無駄にならないような工夫も、今後考えていかなければいけないと思いました。

アンケートの結果を見ましたら、こちらにはあまり書かれていない

<p>事務局</p>	<p>のですけれども、自分自身の時間を持つことができるというのは普段ないことなので、そういう意味では、自分の時間を持てるということが家族との時間を振り返るいい機会になったということで、とても皆さんリフレッシュされていらっしやいました。今後も企画してほしいイベントがあればということの大多数のお母さん方が託児付きのイベントがあるとありがたいということと、体を動かしたいということと、ヨガがとても人気があるということがアンケートの中からもよく分かりました。</p> <p>今後も、子育て中のお母さん方に自分の時間を持っていただくことで子育てに一生懸命取り組むことができるとか、楽しんで取り組むことができるという効果がこれからも期待できるのではないかと思いますので、今後もそういった企画がありましたら続けていきたいと思っています。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>何かご質問等ありましたら、また、今後も続けられるようですので、何かご意見がありましたらお願いいたします。</p> <p>ありませんか。また全体を通して伺いたいと思います。</p> <p>次に、南区ふれあい福祉マップの原さんからお願いしたいと思います。</p>
<p>団体：原</p>	<p>皆さん、ご苦労さまです。ふれあいマップ作成事業の担当をしております、南区身体障がい者福祉協会の会長をしております原と申します。本来、会長である渋川さんが別の会議がございました、私はピンチヒッター、代理で出させていただきました。</p> <p>この作業については、3団体、身障協会、それから手をつなぐ育成会、肢体不自由児者父母の会の3団体合同で取組みをさせていただきました。今年が3年目になります。昨年まではいろいろな情報収集をしてアンケートを配布させていただきました。そのほかに支え合い運動の広報活動がありまして、学習館で私どもの活動状況を報告させていただきました。マップとは違った関係になっておりますが、私どもの活動をご覧いただいたわけでございます。</p> <p>それで、昨年はいろいろな施設、全部で470のアンケート調査、お願いをしましたが、やはり回収が約159ということで、回収率としては他の地区でやった確率から行きますといいほうだそうなのですが、それでも私たちが満足できるものではございませんでした。公共施設が72、民間施設で87の回答をいただきました。その中にはマップに掲載してくれるなという情報もありましたので、それらも精査し</p>

<p>事務局 健康福祉課長</p>	<p>ているところです。役所の施設も紹介したうち、かなりの量の報告が        ございませんでした。というのは、指定管理している施設については        福祉面の対応ができないのかなという気がしております。なお、今後        また追加でお願いする予定でございます。</p> <p>今、マップのデザインを検討しているところなのですが、なかなか        情報が多いと入れる地図も大きいものがないわけですので、それ        らは検討中でございます。見本がここに1部あるのですが、このよう        な感じで、各施設の状況をマークで示していきたいと思っております。        そこには障がい者用の駐車場があるとか多目的トイレがあるとかオス        トメイトがあるとか、ベビーシートがあるとかAEDが設置されてい        るかという情報が入っております。</p> <p>それから補助犬の利用可能施設もあるのでありますが、役所の施設        には全くないと。法律で昨年決まった事項なのですが、玄関に補助犬、        盲導犬を連れて入れるという、阻害してはならないという法律ができ        たのですが、それが全く張られていない施設がたくさんあるというこ        とで、これらの問題があるかと思えます。地図にそういうものを落        としていきたいと思っております。公園やそのほかの公共施設につい        て、できるだけ詳しく情報を入れたいと思っております。</p> <p>この作業については、県立新潟大学の教授の先生からご指導をいた        だいてほしい毎月やっておりますが、私ども素人ですので、やはり        プロの協力ができないかなと思っております。私ども、作るもの        について、一応当面は私たち会員同士も利用できるということで、        将来的には一般の皆さんにお配りできるよう、行政からもご協力いた        だけるようお願いしてございます。区づくり予算に要望いたしました        が、認めていただけるか分かりませんが、ぜひひとつよろしく        お願いしたいと思います。</p> <p>雑ばくな話で申し訳ありませんが、よろしくお願ひいたします。        ありがとうございます。</p> <p>ありがとうございます。冒頭のあいさつの中でもお話しさせてい        いただきましたが、こちらのマップについては来年度から区づくり事業        の中で取組むことが決まりました。マップの作成という区づくり事業        ではなくて、うちのほうでやります区づくり事業の中の地域包括ケア        システムの推進という中にこの事業を入れさせていただきました。自        治協議会から提案していただいた中に、障がい者にとってやさしいま        ちづくり、障がい者にとってやさしい施設というのは、障がい者だけ        ではなくて高齢者、あるいは小さい子どもを持つ親にとってもやさし</p>
-----------------------	--

<p>団体：原 事務局</p>	<p>い施設になりますという提言がありましたので、引き継ぎまして、対象を広げていろいろな世代の方が、いろいろな状態の方が楽しく外出できるようなところが今のところの内容になっています。この後、実行委員会のような形を作りまして、皆様から広くご意見をいただいて内容を精査しながら作っていきたいと考えています。ありがとうございました。</p> <p>よろしくお願ひします。</p> <p>ただいま区の取組みなどの話もありましたが、それも含めて、皆さんから何かご意見、ご質問がありましたらお願ひします。</p> <p>では、次に移りたいと思ひます。デザインジュの渡辺さんからお願ひします。</p>
<p>団体：渡辺</p>	<p>こんにちは。ボランティアサークルデザインジュの渡辺豊子と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>南区地域交流事業として、私たちはイベントを中心に活動を行っています。まだ活動が終了しておりませんので、今、お手元にある報告書は今まで行ってきた内容と開催予定になります。</p> <p>まず、7月に親子パステル教室を行いました。パステル教室は、昨年度大好評だった講座を今年度も開催いたしました。参加人数 24 名、親子で同じ工程でパステルを使い絵を描く講座です。好きな色を使いながら仕上げていきますが、同じ絵を描いているのに色が変わると不思議とどの絵を見てもイメージが変わります。皆集中しながらも会話が弾み、普段とは違った親子のコミュニケーションがとれた楽しい講座となりました。</p> <p>第 2 弾は、8月に南区伝統工芸にふれよう蒔絵体験講座を行いました。参加人数 30 名、蒔絵は伝統工芸の白根仏壇で用いられる蒔絵を体験できる貴重な機会、小学生から 60 代までの幅広い方々の参加がありました。夏休みとも重なり、仕上がった蒔絵を自由課題にするとうれしそうに言う子どもや、30 年も南区に住んでいるのに蒔絵をするのは初めてという方もいました。伝統工芸師の方々 5 名も講師として来ていただき、目の行き届いたとてもよい講座になりました。</p> <p>第 3 弾はハーブ入り手作りウィナーを作りました。参加人数 14 名、ハーブ入りの手作りウィナーは家ではなかなか作ることができない安心・安全な 50 センチくらいある大きなウィナーを作りました。ただウィナーを作るだけではなく、ハーブの効能や、普段、家庭でも使える調理方法として教えていただきました。料理をしながら情報交換の場にもなり、楽しくおいしい講座になりました。</p>

事務局	<p>第4弾は明日開催予定の、ストレスに打ち勝つ体作りの足揉み講座です。この講座は、南区のみなみ風でも紹介していただきました。ありがとうございました。昨日現在で参加申し込み33名、おかげさまで定員となりました。簡単な足揉みセルフケアを学び、家庭でも気軽に健康維持に役立つことができると思います。今年度は自主活動として白根つくし園、白根健康センター、あすなろ福祉園、臼井地域生活センターなどたくさんの方で声をかけていただき、計9回、ハンドマッサージを行う活動ができました。私たちの活動がこうして広まり、他世代交流が図られたのではないかと思います。</p> <p>安心ささえ愛活動支援事業の補助金をいただき、多くの参加者を得ることができまして、本当に感謝しております。ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>デザンジュはこの白根健康福祉センターやいろいろなところでも、活動補助金以外の活動も始めているところですが、その辺につきまして、この白根健康福祉センターでやられた内容をお話しできればと思います。</p>
団体：渡辺	<p>この下で声をかけていただき、今日はチラシを持ってこなかったのですけれども、講座でハンドマッサージを行う活動で、メンバー5人で20名の方にハンドマッサージを行いました。</p>
事務局	<p>デザンジュの活動内容について、ご質問等ありましたら、特にございませんでしょうか。</p> <p>なければ、次に、ふおうはあとの寺嶋さんからお願いいたします。パネルをご用意されていますので、少し見にくいところもあるかもしれませんが。</p>
団体：寺嶋	<p>こんにちは。ふおうはあとの寺嶋聡美です。</p> <p>その前に、今年度の活動の様子をフォトブックにまとめましたのでご覧ください。私たちは地域の中で縦横斜めの豊かな関係をはぐくみ、みんなが顔なじみで協力したり認め合ったり助け合ったりしながら地域が一つになれたらという思いで、地域活性化ボランティアプロジェクトの活動を行ってきました。</p> <p>2016年の活動です。4月26日に岸本達也先生を講師にお迎えし、ラーニングマップ講座を行いました。ラーニングマップとは、自分の考えやアイデアなどを絵で整理する表現方法、ノート術です。当日はラーニングマップを使った漢字の覚え方、文章のまとめ方、イメージが見える化して考えを整理する方法を学びました。当日は子どもから</p>

70代の方までの幅広い世代の25名の方に参加いただきました。アンケートでは、これは小学生のコメントなのですが、自分は頭が悪いと思っていたけれどもみんな頭がいいのだということが分かりましたとか、いろいろなすてきな感想をいただきました。

6月28日、世代間交流事業、おじいちゃんとおばあちゃんとみんなが遊ぶ会に呼んでいただき、新飯田まつりで小川連中の始まり、大型紙芝居「だおのじさ」と体験参加型「おおきなかぶ」をピアノの生演奏を行いました。紙芝居の後は地域の方の歌と太鼓に合わせてみんなで浜おけさを踊りました。おおきなかぶでは皆さんに参加していただいて体育館いっぱいにごろっと囲んでみんなで大きなかぶを抜きました。大きなかぶの中にはお菓子が入っていて、抜いた後にみんなでおいしくいただきました。これは130名の参加がありました。

7月9日は白南中学校でアロマ虫除けスプレーづくりを行いました。直接肌につくものなので、安心・安全で天然の香りのものという思いで企画しました。約80名の生徒と先生方がオリジナルのアロマスプレーづくりを楽しんでくれました。いい香りがするとか、もう一本作りたい、また来年もなどという感想をいただきました。

8月18日、南区の児童館と私たちふおうはあとのコラボ企画ということで、5,000本のカプラと遊ぼうと大型カルタ絵本大会というものを行いました。児童館の職員の方にカプラの説明や使い方を教わって、子どもたちは集中して作っていました。はじめは個々で作っていたものがだんだんつながっていき、最後にはまちができて、子どもたちの創造性のすばらしさに感動しました。後半はいろいろな絵本に出会ってほしい、絵本の世界を知ってほしいとの思いで大型カルタを作り体育館いっぱいに広げ、絵本のお話や台詞を聞いてカルタ取りをしました。40名の参加がありました。

8月29日、白南中学校PTA主催のアロマキャンドルづくりとハンドトリートメント講習会で講師をさせていただきました。お寺や葬儀場で不要になったろうそくをいただいて、カラフルなろうそくのチップを作り、一人一人がお気に入りの色や香りのオリジナルろうそくを作りました。その後はお気に入りの香りをつけてハンドマッサージをしあい、いい香りの中でのリラックスタイムとなりました。最後にシフォンケーキとお茶で子どものこと、学校のこと、普段なかなか集まらないお母さん方といろいろな話ことができました。でき上がったろうそくは中学校の文化祭でPTA作品として飾っていただきました。

10月31日には世代間交流会としてハッピーハロウィンのイベント

事務局	<p>を行いました。まず、大型絵本とピアノ演奏による「もりのかくれんぼう」、次にハロウィングームで楽しく遊びつつグループを作り、そのグループでハロウィンウォークラリーをしました。体育館中に隠されたクイズなどを探し、みんなで力を合わせて挑戦しました。最後に森のケーキ屋さん、優勝したチームから好きなクリームやトッピングを選んでケーキを作ってもらいました。地域の中学生や学生たちがお手伝いに来てくれて、とても助かりました。約90名の方の参加がありました。皆さんハロウィンということですてきなハロウィンのコスチュームを着たりして来てくれました。</p> <p>11月から12月にかけてはハンドベル講習会を行いました。12月12日の新飯田地区ふれあいコンサートでハンドベルの発表をしました。小学生から大人まで17名が参加してすてきな曲を披露しました。</p> <p>12月18日には白南中学校とふれジョブで大型絵本とピアノの上映会を行いました。12月24日は白根学童ひまわりクラブで、1月7日は月潟学童ひまわりクラブで、2月18日は庄瀬小学校で同じく大型絵本とピアノの上映会を行いました。</p> <p>そのほかに、毎月新飯田小学校で全学年に読み聞かせを行っています。夏休みの期間中も絵本の読み聞かせやお話会を行ってきました。今年から、地域のおじいちゃんおばあちゃんも読み聞かせに加わってくださって、子どもたちはいろいろなバリエーションのお話を楽しんでいます。来年度は地域の方にもっと講師になっていただいたり、子どもたちが主役になれるような活動もしていきたいと考えています。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>今のふおうはあとの報告、活動内容にご意見やご質問がありましたらお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。続きまして、新飯田コミュニティ協議会から説明していただくのですが、今、資料を配付いたしますので、少々お待ちください。</p>
団体：知野	<p>ごめんください。新飯田コミュニティ協議会の知野と申します。健康福祉課の皆様や社会福祉協議会の皆様には日ごろから大変お世話になっております。ありがとうございます。また、このたびはアクションプランのにいがた安心ささえ愛活動の補助金を使用させていただきまして、ありがとうございました。</p> <p>今年度はこのにいがた安心ささえ愛活動を利用させていただいて3年目になりましたので、地域の方々や他の地域の方からもご参加いただいて、楽しい交流の場になりました。1、2年目はピラティスを実</p>

施し、3年目は少し変えてヨガを実施しました。ヨガといってもいろいろありますが、今回のヨガはインド政府公認のヨガセラピーとヨガティーチャーの資格を取得された安宅真弓先生を講師にお招きしました。このヨガは呼吸法やヨガポーズを使って自分の体や心をもっと身近に、そして慈しむことを大切にすることを目的とし、最後に全員があぐらをかいたような姿勢で両手の親指と人差し指をつまんだポーズで目をつぶります。先生はキルタンといってインドの言葉で歌を歌います。そのときにインドの楽器を鳴らしながら歌いますので、それを聴きながら瞑想します。

地域の案内は、チラシもお見せしたかったのですが、夜の部を全戸配布しました。計12回、月にだいたい2回です。夜に参加できないから昼にも設けてほしいという声が上がって、急遽スペシャル企画として1回設定しました。最初は参加者が27名だったのですが、安宅先生のお名前を聞きつけて途中から参加された方もおありまして、最終的には37名となりました。東区や阿賀野市から参加された方もいました。

報告に入ります。今ほどお配りしましたアンケートなのですが、この資料は11月12日に参加者18名が記入しまして、その後4名追加で計22名分のアンケート結果です。1番ですが、30代が最も多く、50代、60代と続いておりまして、10回以上参加した人も30代が最も多くありました。

2番目の実施時間ですが、昨年度は7時からやっていたのですが、もう少し遅らせると助かるという声もありまして、今年は7時30分から9時としました。だいたいこの時間でよかったようです。

③内容的なことでは、筋肉や血行など、肉体的なことについての改善も評価が高かったようですが、それ以上にリラックスを感じるとか穏やかな気持ちになれたなど、精神的な効用への評価が高かったようです。

④ヨガ全般に対する評価も高いようです。

⑤来年度についてもヨガを実施してほしい、参加したいという声が大半でした。

⑥参加しての感想をご覧ください。丸のついているところを読み上げます。久しぶりに地域の催し物に参加させて頂きました。ヨガはもちろんよかったですが、地域の方との交流ができてとても良かったです。

その下の丸です。安い料金で、このような貴重な体験ができ、大変

事務局	<p>よかったです。</p> <p>下から2番目の丸です。無理をしないヨガ、人と比較しないヨガ、自分でできる範囲とするヨガ、とてもリラックスでき、自分だけの世界に入れたヨガでした。最後の歌声（キルタン）は、インドの人たちが歌っているとのこと、美しい歌声でインドの世界を思い浮かべながら瞑想できました。からだはもちろんですが、「心」の面がとてもゆったりとでき、明日からまたがんばろうという勇気をもらいました。</p> <p>最後の丸です。多忙の毎日、ヨガの時間だけが自分を見つめる大切な時間でした。キルタンの歌声を聞くと、気持ちがゆったりして、貴重な「癒しの時間」をいただきました。来年度も是非お願いしたいです。というアンケートでした。</p> <p>みなみ風にこのヨガについて紹介させていただきました。そのおかげで新飯田地区以外の方からも参加をいただきまして、とてもよい交流の場となりました。</p> <p>最後に、3年間アクションプランのにいがた安心ささえ愛活動の補助金をいただいて活動できましたことは新飯田地区の活性化につながったと思っております。20代から70代の人たちが一堂に集まって運動したり話をしたりすることは、機会がありそうでなかなかありません。そういう機会をいただいたことに感謝申し上げます。今後ともこのような機会がありましたら、ぜひ活用させていただきたいと思っております。ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>新飯田コミュニティ協議会のご報告に何か質問等ありましたら、今後こうしたらいいのではないかという意見がありましたらお願いします。</p> <p>ありませんでしょうか。</p> <p>今、発表いただきました7団体すべての活動について、総括して何か質問等はよろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。</p>
金子委員長	<p>今ほど、にいがた安心ささえ愛活動支援事業ということで、実施団体の皆様方から発表いただきました。本当にそれぞれが工夫を凝らしながらいろいろな事業をやっていらっしゃるということで、本当に感心しているところでございます。</p> <p>この件については以上で閉じさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。それでは、次に進みます。その他でござい</p>

山宮委員	<p>ます。本日の会議やアクションプラン、そのほかについて、皆さん方から何かご質問、ご意見等がございましたらお受けしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>味方地区コミュニティ協議会の山宮でございます。</p> <p>具体的な活動に参加しなくてあまりものを言えない立場なのですが、いろいろ話を聞いておまして、個別の部分ではなかなか発言するあれがなかったのですが、全体的な部分で要望がありましたのでお願いしたいと思います。</p> <p>今、新飯田コミュニティ協議会のボランティア活動、非常に活発にやられていることを聞きましてうらやましく思っておりましたが、地域でいろいろなものをやろうとしてもなかなか取組みができないという実態がありまして、今まで活動を担ってきた方々がかなり高齢化になりまして、ぼちぼちだめな、次の世代にといいところがあるのですが、その次の世代、団塊の世代とその上の世代はかなり溝があるみたいで一体化にならないという状況がございます。今、ボランティアの方々の話を聞いてうらやましかったのですが、今までやった活動を代替わりしてというのは無理なのかなという気がしております。新しく取組めるような形ができたらいいのかなと思いました。味方地区でも団体がだめになったとか、これからごみ出しをやろうとか、そういう高齢者の部分はコミュニティ協議会でいろいろ話をしているのですが、いろいろな活動は提案されていますが末端に来るとみんな一つなのです。受けるほうは一つで役員がいないと。役員の発掘をいかにしたらいいかということで、みんな役員にはなりたくないわけですが、ボランティアをお願いするところがいいのかなと思って考えておりました。それにつきまして、いろいろな活動をするときに自治会と一体化して取組ませていただく方向を、ぜひ、お願いしたいと思います。当然、連携はされてなんでしょうけれども、協力自治会というところを全部積極的に探っていただいて、それをモデル的に広げていくという手法がとれたら長続きするのではないかという感じもしますので、行政サイドの取組みの中で、ぜひ、協力自治会を増やしてそこでやれるものはやっていただく。そこで役員というか活動家等が発掘できれば、その方々が次のステップに進んでいけるのだらうと思っております。</p> <p>何せ末端地域で見えなければあまり関心を持たないわけです。末端がどうなるかが一番あれなのですが、末端で行くと自治会とか班の単位でいろいろな取組みをするというのが基本になるのだらうと思うの</p>
------	---

<p>金子委員長</p>	<p>ですが、そういった部分を視野に入れて活動していただければという感じがしておりました。そうやって何か話を出せば自治会で協力しようではないかという話になれば、みんなまた関心を持ってもらうわけですから、そういった取組みをして、ごみ出し一つだけでもいいのですが、それからボランティアの発掘とか、そのような輪が広がっていったらいいなと考えております。ぜひ、取組みをするに当たっての目線をその辺に置いていただければと思ってお願いいたしました。よろしく申し上げます。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>これは皆さん方全員といいますか、どこの地区でもあるような悩みなのだろうと思っております。今、山宮委員がおっしゃったようなことも念頭にしながら考えていきたいと思っております。</p>
<p>健康福祉課長</p>	<p>ありがとうございました。今ほどのお話、本当にごもっともです。実は、先ほど分科会で話をさせていただいた中の最後の分科会、地域づくりのところでもボランティアのことは課題として上がっているところがございます。この後またさまざまな面で地域の皆様と私たち、あるいは社会福祉協議会の皆さんと活動していくということが多く増えてくると思います。今のお話を念頭に置いて、これから取組みをますます進めていきたいと思っております。ありがとうございます。</p>
<p>竹山委員</p>	<p>社会福祉協議会からも一言お話しさせていただきたいと思います。今年度、実は、味方地区の一つの自治会をモデルとさせていただきまして、住宅地図を大きく拡大させていただきまして、お一人暮らしの方がどれくらいいらっしゃるかと、あるいは高齢者のみの世帯、そして障がい等があって一人では避難所に行けないような方が地域にいらっしゃるかといった形で、住民の方にマッピング作業をしていただきました。地域を見える化させていただきまして、今後10年でこの地域がどのように変わっていくかということを意見交換させていただきました。その意見交換の中で、やはり今後10年でお一人暮らしが増えていくだろうとか、空き家や空き地が増えていくだろうというお話が出てくる中で、では今からできる活動を皆さんでやっていきませんかということで投げかけさせていただき、お一人暮らしの方の声かけの活動をしていこうというのが自治会で生まれております。</p> <p>そのような形で、今、山宮委員からお話ございましたように、自治会等の小単位での活動も私たちは、ぜひ、応援させていただきたいと思っております。ぜひ、この自治会で非常に意欲があるからということでお話があれば、社会福祉協議会、行政の皆さんと一緒に地域に</p>

金子委員長	<p>出かけていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>どうもありがとうございました。そういうモデル事業等で、ぜひ、その結果等を還元していただければありがたいと思っております。</p> <p>ほかに何かございますでしょうか。</p> <p>皆様方からはよろしいでしょうか。それでは事務局から何か連絡事項等はございますか。</p>
事務局	<p>連絡事項としましては、にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金なのですが、3月20日号の区だよりで申請受け付けを始めますという内容で掲載を考えております。もちろん新年度の4月1日から5月の最初、連休明けを予定しております。</p> <p>今年は、今まではほかの区から予算をもらって7団体なのですが、この補助金も予算減が勧告されておまして、5団体で精一杯でございます。申請の内容によって審査会で、オーバーすれば、もちろんオーバーしなくても申請が補助金のガイドに該当しなければ落とされるわけなのですが、申請内容によって順番を決めさせていただくような、もしかすると補助金を受けられないということもありますので、ご承知おきいただきたいと思っております。そのような補助金の予定でございますので、皆様のご用意、また新しくされるころも、こういう内容で補助金を受けられるのだと、もっと活発なことをしたいということであれば、審査で順位づけされますので、今からご審議をお願いしたいと思います。</p>
健康福祉課長	<p>今日はお詫びから始まりましたが、また最後にもお詫びさせてください。今日はこちらの準備に不手際がありまして、委員の皆様、あと発表をお願いしていた皆様にご迷惑をおかけしました。本当に申し訳ありませんでした。1時半から会議が始まりまして、もう4時ということで、長時間皆様におつきあいいただきました。本当に申し訳ありません。今後こういうことのないよう、しっかり準備して会議に挑んでいきたいと思っております。よろしくお願いたします。ありがとうございました。</p>
金子委員長	<p>ほかにないようでございますので、以上をもちまして第2回南区地域福祉アクションプラン推進委員会を閉会させていただきます。大変ご苦勞さまでございました。ありがとうございました。</p>